



# にこにこスマイル通信



発行/ しゅはら鍼灸整骨院 〒621-0043 京都府亀岡市千代川町小林西芝 92-11

0771-25-8587 ホームページ <http://www.niconico-smile.com>



被災地である東北地方を中心に、まだまだ震災の爪痕が残る日本ですが、前を向いて行きましょう！この度被災された皆様には、1日も早く今まで通りの生活に戻られる事を心よりお祈り申し上げます。さて、暑い夏が目前に迫っています。この夏の課題と言えば『節電』です。この夏は全国的に各企業・家庭で「15%の節電」の協力が政府から呼びかけられています。猛暑の中でクーラーが使えないことはとても辛い事ですし、身体に不調をきたす危険も考えられます。テレビ・新聞などでは「いかに今年の夏を乗り切るか」といった事が紹介され、「打ち水」や「グリーンカーテン」「扇風機やすだれの使用」「氷枕」「エアコンの設定温度を高め」などが推奨されています。また、夏の校野球も、決勝戦は電力ピーク時をずらして午前中に行なわれるそうです。3月11日の地震以降、近年の日本人の生活や考え方が変化したような気がします。待合室の壁に今月のおすすめ絵本「もったいないばあさん」があります。日本の昔からの精神を改めて気付かされました。みんなで力を合わせこの難局を乗り越え、素晴らしい日本、地球を創りましょう！

**健康保険について：** 整骨院で健康保険が適用されるには、捻挫、打撲、挫傷（肉ばなれ）、骨折、脱臼と判断された場合や、筋肉、関節、骨のケガで原因がはっきりしている場合です。できるだけ負傷原因をくわしくお伝えくださいますようご協力お願いします。また、仕事および通勤途中のケガは労災保険、交通事故は自賠責保険の適用になります。また、保険外治療の骨盤矯正、全身調整（コンディショニングアップ等）、自律神経調整、冷え性改善コースもあります。

## 話のネタで使える ちよっとした 季節の雑学

かさ  
傘

暦の上で「入梅」にあたる **6月11日は『傘の日』**でもあります。そこで今回は“**傘にまつわるお話**”をいろいろご紹介します。

### 傘の歴史

傘の歴史はなんと今から 4000 年前にまでさかのぼります。当時ギリシャでは、「神の権威を表す印」として傘のようなものが祀られ、その様子が当時の彫刻画や壁画に残っています。今、私たちが使っているような開閉型の傘は 13 世紀にイタリアで発明されました。当時は鯨の骨や木を使って作られていたそうです。当時の傘は主に“婦人用”としてのみ使われていて、男性が傘を使うようになったのは、それからずっと後の 18 世紀に入ってからです。



### 忘れ物 No.1

傘は“**忘れ物 No.1**”としての顔もありますよね。平成 18 年の警視庁の発表では、1 年間で“**43 万本（1 日約**

**1200 本）**”もの届けが出されており、紛失物全体の 2 割以上を占めています。また反面、1 年間の傘の販売本数は“**約 1 億 3000 万本**”で、これは赤ちゃんからお年寄りまでの全国民が毎年 1 本購入している計算になります。

### ハイテク傘がまもなく登場!?

構造自体昔からあまり変化のない傘ですが、その歴史に新たな転機をもたらすかもしれない“**新しい傘**”が今、開発されているそうです。まだ販売はされていませんが、その傘の名は『**AIR UMBRELLA**』といい、**エア・アンブレラ**の壁を作って雨を防いでくれる超ハイテク傘で、見た目は“**新体操で使うトワリングバトン**”のような形になっています。このように傘の技術や考え方にも少しずつ変化が起きているようです。もしかすると 10 年後、20 年後の傘をさす人々の光景は、今とは全くちがっているのかもしれないね。

